

コード	204010109
記入日	H24.5.14

課コード	114
課名	水道課
課長名	吉本 佳文
担当者	坪井 孝一

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	奈良尾地区統合簡易水道整備事業
----------	-----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 28 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	1
施策コード	204	施策名称	暮らしを支える水道の整備	項コード	3
基本事業コード	20401	基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進	目コード	1
事務事業コード	2040101	事務事業名称	簡易水道特別会計事業費	細目コード	特別会計
関連計画	新上五島町簡易水道事業統合計画		法令・条例規則等		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 水道使用者(奈良尾・佐尾地区)	(対象2)	(対象指標1) 2,624人	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・萱場浄水場と新浄水場の2系列体制とする。 ・廃止する浄水場（8箇所） ・水源についても8箇所から4箇所とする。	(平成23年度) 導水管布設工 237.0m 送水ポンプ設備工 1.0式 送水ポンプ場内配管工 1.0式 萱場配水池付属配管工 1.0式 電線管布設工 237.0m 急速ろ過機設備工 1.0式	事業進捗率	400,099千円	28.4%	実績事業費÷ 全体計画事業費	平成28年度
		事業進捗率	139,044千円	100%		平成23年度
		① (達成率分析)	計画どおり進捗している。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・奈良尾簡易水道に須崎簡易水道及び佐尾簡易水道を統合し、老朽化した施設の統廃合を行い、大幅な経費の節減と維持管理費の軽減を図る。また、老朽設備及び老朽管を更新し、有収率の向上と更なる安定供給を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		有収率	77.0%	85.6%	有収率実績÷ 目標有収率	平成28年度
		有収率	76.7%	85.2%		平成23年度
		① (達成率分析)	平成23年度については、送水・導水管・電線管の布設替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降	
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	
活動指標	①	%	100	28.4	18.5	9.9	9.9	5.5	18.4	18.4	14.6	14.6
	②											
成果指標	①	%	90	77.0	77.2	90.0	76.7	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	②											
総事業費 C (A+B)	千円	1,439,405	410,599	268,055	142,550	142,544	81,430	263,500	263,500	210,185	210,185	
直接事業費 A	千円	1,411,405	400,099	261,055	139,050	139,044	77,930	260,000	260,000	206,685	206,685	
人件費 B	千円	28,000	10,500	7,000	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
内訳	従事職員数	人	4.0	1.5	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	685,465	198,000	129,000	69,000	69,000	37,465	125,000	125,000	100,000	100,000
	県補助金	千円										
	起債	千円	722,900	199,000	129,300	70,000	69,700	40,400	135,000	135,000	106,600	106,600
	その他	千円										
一般財源	千円	31,040	13,599	9,755	3,550	3,844	3,565	3,500	3,500	3,585	3,585	

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	水道水の安定供給は不変的なものであり、当然行うべきものである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	老朽施設更新により改良区間の有収率向上等が図られ、一層の安定供給が確保される。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	随時計画の見直しを行い進捗しているため、向上させる余地はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	単一事業であり、事業を推進するうえで適切である。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっているためできない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	現在のところ、計画を大幅に見直す必要はない。
	今後、課題に向けた改善策	最小の経費で最大の効果が得られるよう、随時計画実施の効果を検証し、翌年度以降の計画に反映させる。

2 次 評 価	国の補助額の関係から事業期間が平成26年度までから平成28年度までと2年間延長されているが、事業執行にあたっては関係機関との調整を図りながら、安定的な水道の供給に向け、計画どおり事業を実施すること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。